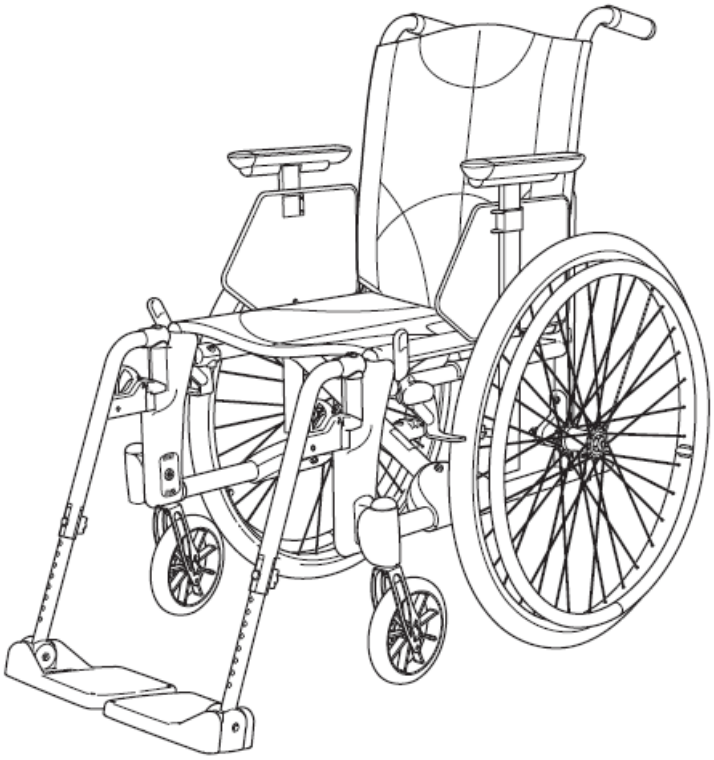
モジュラ車いす（CCTA コード　１２２１３３）

スマート取扱説明書



ラック ヘルスケア株式会社

コード NO.2015.04

目次

【タイトル】 ページ

１．概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１

２．各部の名称・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２

３．クイックガイド・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３

４．調節方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・７

後座高・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・７

前座高・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・９

座面角度・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１１

ブレーキ調節・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１１

フットサポート・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１２

アームサポート・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１２

バックサポート・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１３

転倒防止装置・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１４

５．仕様・サイズ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１５

６．メンテナンス方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１６

品質保証書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１７

１．概要

この度は車いす「スマート」をお買い求め頂き、誠にありがとうございます。
本製品のご使用前には必ず『取扱説明書』をよくお読み頂き、正しく安全に使用してください。
車いすの調節は、販売店もしくは弊社までお問合せください。

「スマート」は屋内・屋外の両方でのご使用を目的として作られた折り畳み可能な手動車いすです。シート（座面）とフットサポートは高さと角度の調節でき、バックサポートの高さの調節ができます。「スマート」は必要に応じて調節することが可能です。

⚠ 警告　この表示項目を守らずに誤った取扱をすると重大な事故につながり、使用者が重傷を負う恐れがあります。

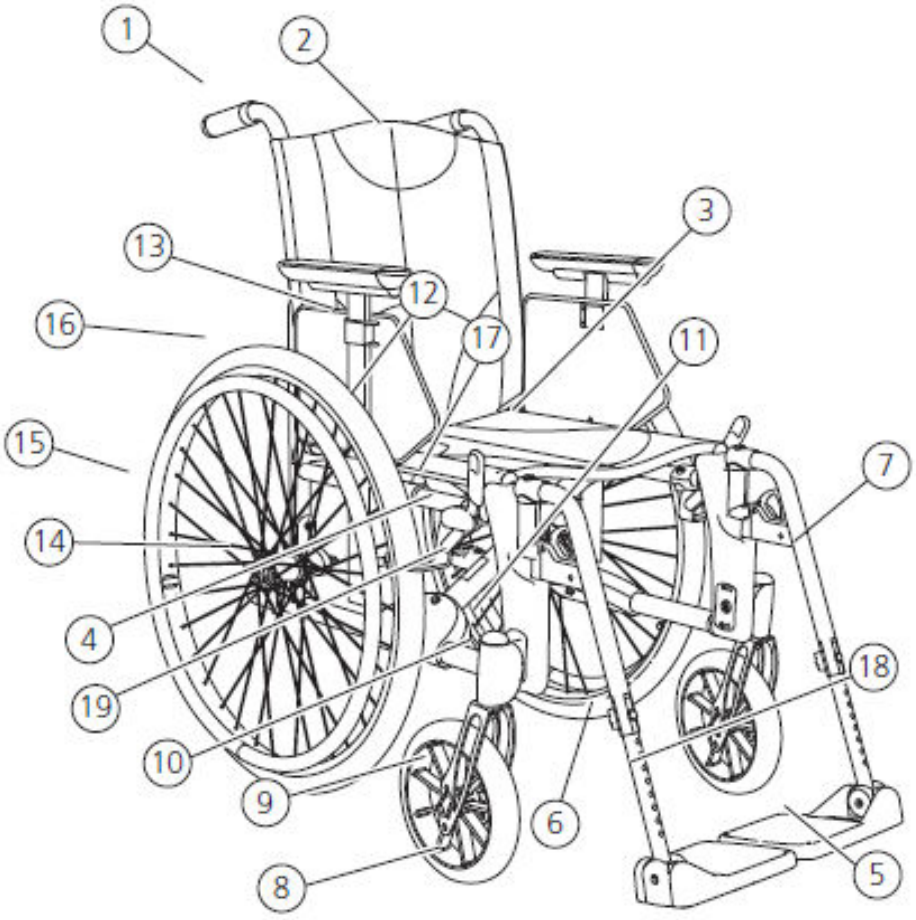
⚠ 注意　この表示項目を守らずに誤った取扱をすると使用者が傷害を負ったり、物的損害をこうむる恐れがあります。

⚠ 警告	フットサポートの上に立たないでください。 前方へ転倒し、ケガをする恐れがあります。
	車いすを持ち上げる際は、アームサポート、フットレッグサポートを持たないでください。
⚠ 注意	車いすを操作、調節する際は注意してください。
	車いすの折り畳みをする際は、アームサポート、フットレッグサポートを持たないでください。
	調節によっては車いすが後方へ転倒する危険性があります。 必要に応じて転倒防止装置を使用してください。
	すべてのネジがしっかりと固定された状態で使用してください。

〈使用する工具の表記〉
調節に使用する工具の種類をマークで表記しています。

マーク	種類とサイズ
	六角レンチ ３mm／５mm ６mm
	ソケットレンチ １９mm／ ２４mm
	トルクスレンチ T２０

２．各部の名称



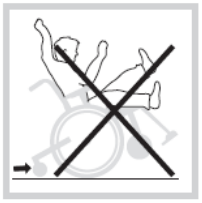
1　バックサポートチューブ
2　バックサポート
3　シート
4　ブレーキ
5　フットサポート
6　フットレッグサポート固定ノブ
7　レッグサポート
8　キャスタ（前輪）
9　フロントフォーク
10　フロントフォークアタッチメント
11　ナットカバー
12　アームサポートアタッチメント
13　スカートガード
14　クイックリリースハブ
15　ハンドリム
16　メインホイール（駆動輪）
17　サイドフレーム
18　アタッチメントチューブ
19　シリアルナンバー

3、クイックガイド

【マークの意味】

固定位置

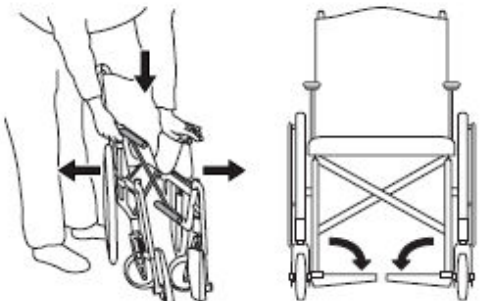
アームサポートを持って車いすを持ち上げないでください。



後方へ転送する危険性がある場合には、転倒防止装置を
使用してください。

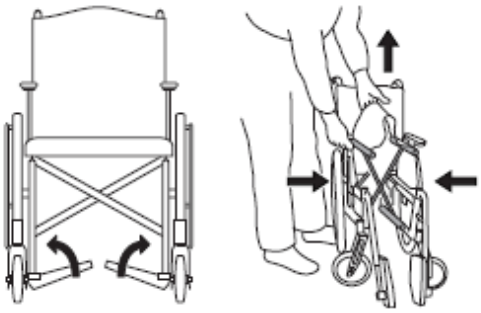
広げ方

右図のように片側のフレームを手のひらで
下向きに押してください。



折り畳み方

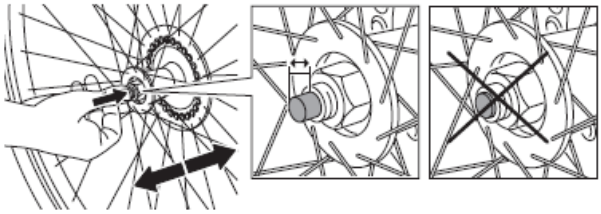
右図のようにフットプレートを跳ね上げ、
座面シートを持ち上げてください。



⚠ 注意　シートを広げる際に手を挟まないようにご注意ください。
シートフレームを握ったまま行うと、手を挟みけがをする恐れがあります。

クイックリリースハブ

使用の前にはクイックリリースボタンを確認し、メインホイールが固定されていることを確認してください。

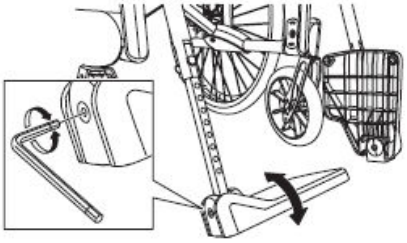


フットサポート調節

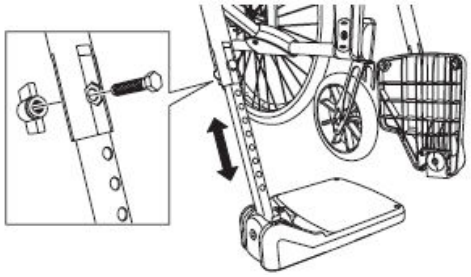
フットサポートは高さと角度調節が可能です。
使用される靴やシートクッションを変えた際には、再度調節を行ってください。

車いすを屋外で使用する場合には、地面とフットポートの間を４～５ｃｍ空けてください。

角度調節
六角レンチ（５mm）でネジを緩めると
フットサポートの角度が調節できます。
調節後はネジを締めて固定してください。



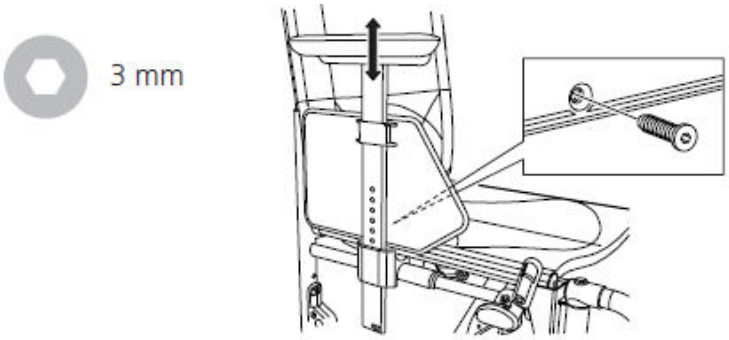
高さ調節
ウイングナットを緩め、ネジを抜いて
ください。
高さを調節した後、ネジ、ナットを
取り付け、しっかりと締めてください。



アームサポート調節

1、　六角レンチ（3mm）を使い、スカートガードを固定しているネジを外します。

2、　アームサポートの高さを調節し、ネジで固定します。



バックサポート調節

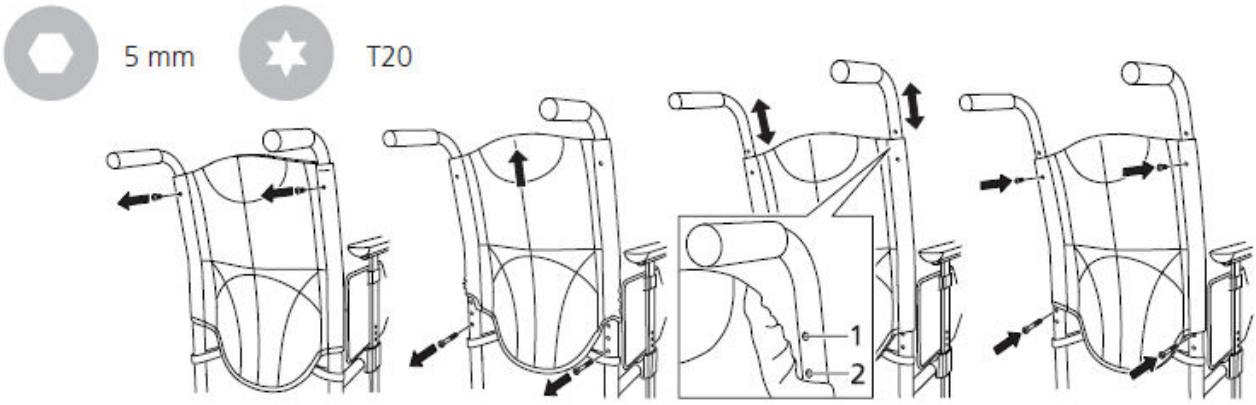
バックサポート高さと介助ハンドルの高さを調節することができます。

1、　バックサポートを固定しているネジを外します。

2、　バックサポートを上にずらし、バックサポートパイプを固定しているネジを外します。
バックサポートパイプの穴を変更することで、介助ハンドルの高さを変更できます。

3、　バックサポートは上下２箇所の穴（下図、１と２）の位置を変更することで高さを
変更できます。

4、　それぞれの高さが決まってから、ネジで固定します。



【安全にご利用いただくために】

メインホイール：クイックリリースは定期的に汚れを取り除いてください。

キャスタ：　　キャスタは定期的に汚れを取り除いてください。

フレーム：　　フレームを洗浄する際には、ph５～９の薬剤、もしくは７０%に希釈した消毒液を使用してください。

シート：　　タグの表記に従い、洗濯してください。

⚠ 警告　　使用中に不具合が発生した場合には、直ちに使用を中止し、
取扱店もしくは、弊社までご連絡ください

トラブルシューティング	
車いすがまっすぐに進まない	• フロントフォークアタッチメントの角度を確認してください。 • 前座高が左右で同じ高さかどうか、確認してください。 • メインホイールの取り付けが正しいか、確認してください。 • 体重が左右に均等にかかっていない可能性があります。 • 車いすを動かすために片側に力が偏っている可能性があります。
車いすが操作しづらい	• メインホイールの取り付けが正しいか、確認してください。 • キャスタに毛髪や埃等、付着していないか確認してください。
車いすの回転動作が重く、操作しづらい	• キャスタに毛髪や埃等、付着していないか確認してください。 • フロントフォークのナットを締めすぎていないか、確認してください。
ブレーキが効かない	• ブレーキを調節してください。
メインホイールががたつく	• ネジ、ナットに緩みがないか、確認してください。
駆動輪の脱着がしづらい	• クイックリリースに潤滑油を塗ってください。 • クイックリリースの長さを調節してください。
キャスタががたつく	• フロントフォークのナットが緩んでいないか、確認してください。 • 前座高が左右で同じ高さかどうか、確認してください。 • フロントフォークアタッチメントの角度を確認してください。 • キャスターに体重がかかりすぎていないか確認し、重心が車いすの中心になるように調節してください。
折り畳みにくい 広げにくい	• クロスフレームの連結部の汚れをとり、潤滑油を塗ってください。 • 背張り調節の締め具合を確認してください。
車いすが不安定に感じる	• 全てのナット・ネジが締まっているか確認してください。 • パーツに亀裂や破損がないか、確認してください。

＊車いすが正しく調節されていない場合、または正しい駆動方法でない場合に上記の問題が起こる可能性があります。

４．　調節方法

座面高さ調節

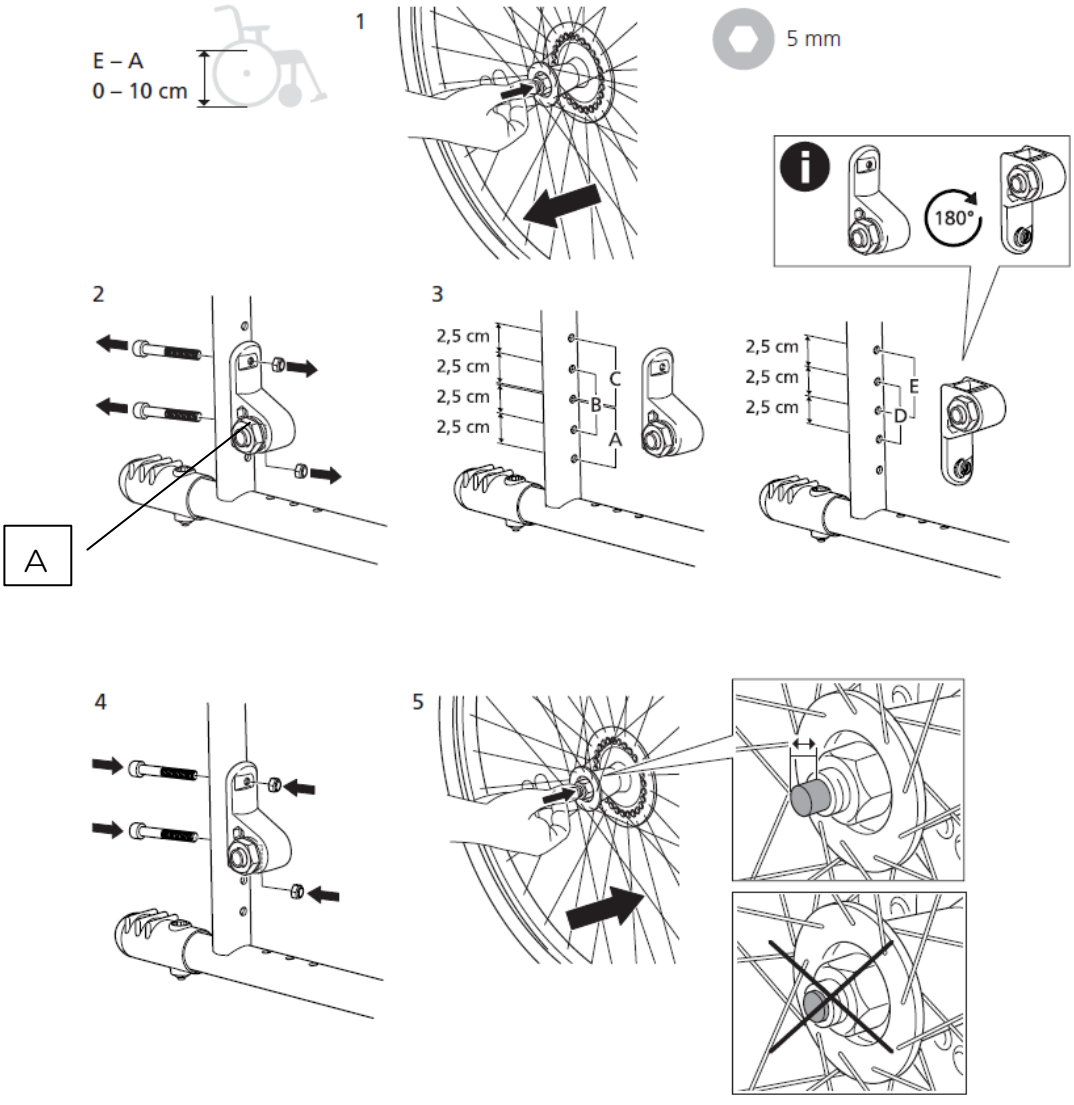
スマートはご利用者の体型や利用目的に合わせて
座面の高さを調節することが可能です。

⚠ 注意　　調節によっては車いすが後方へ転倒する危険性があります。
必要に応じて転倒防止装置を使用してください。

後座高調節

メインホイールの軸位置を変更することにより２.５ｃｍずつ座面高さを調節できます。

１、　メインホイールの車軸中央のボタンを押しながら引き抜いてください。
２、　六角レンチ（５mm）でネジを外し、アタッチメント（A）を外します。
３、　座面高さに合わせて、アタッチメント（A）の位置を変更します。
４、　ネジでアタッチメント（A）を固定します。
５、　車軸中央のボタンを押しながらメインホイールを差し込んでください。

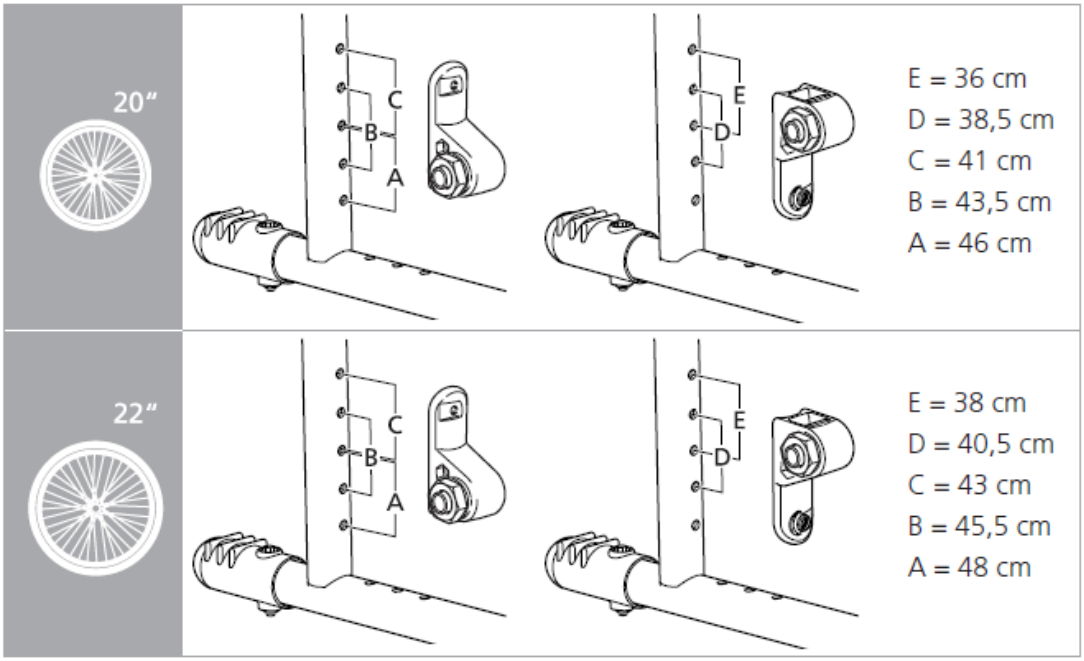


後座高寸法

タイヤサイズにより設定できる高さが異なります。

前座高の設定位置により、設定できる車軸位置が制限される場合があります。

日本国内で販売している標準モデルは、A および B の高さに設定できません。



⚠ 警告　調節後はメインホイールが正しく固定されていることを確認してください。

⚠ 注意　調節後は、ネジ・ナットに緩みがないか確認してください。

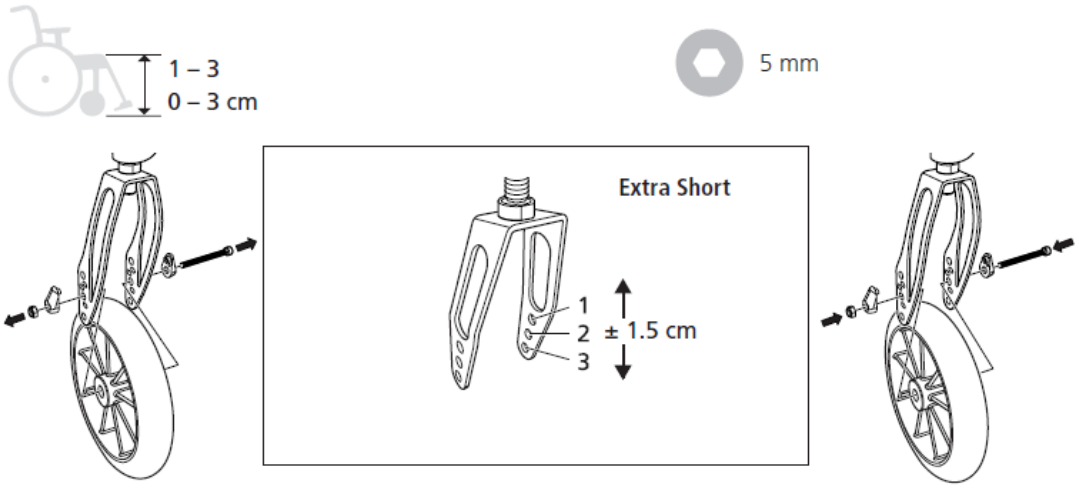
前座高調節（キャスタ軸位置による調節）

キャスタの取り付け位置により、１.５cm ずつ座面の高さ調節ができます。

１、　六角レンチ（５mm）で、キャスタを固定しているネジを外します。

２、　キャスタの取り付け位置を変更します。

３、　ネジでキャスタを固定します。



前座高調節（フロントフォークアタッチメントによる調節）

フロントフォークアタッチメントの上下を入替えることで、２.５ｃm高さを変更できます。

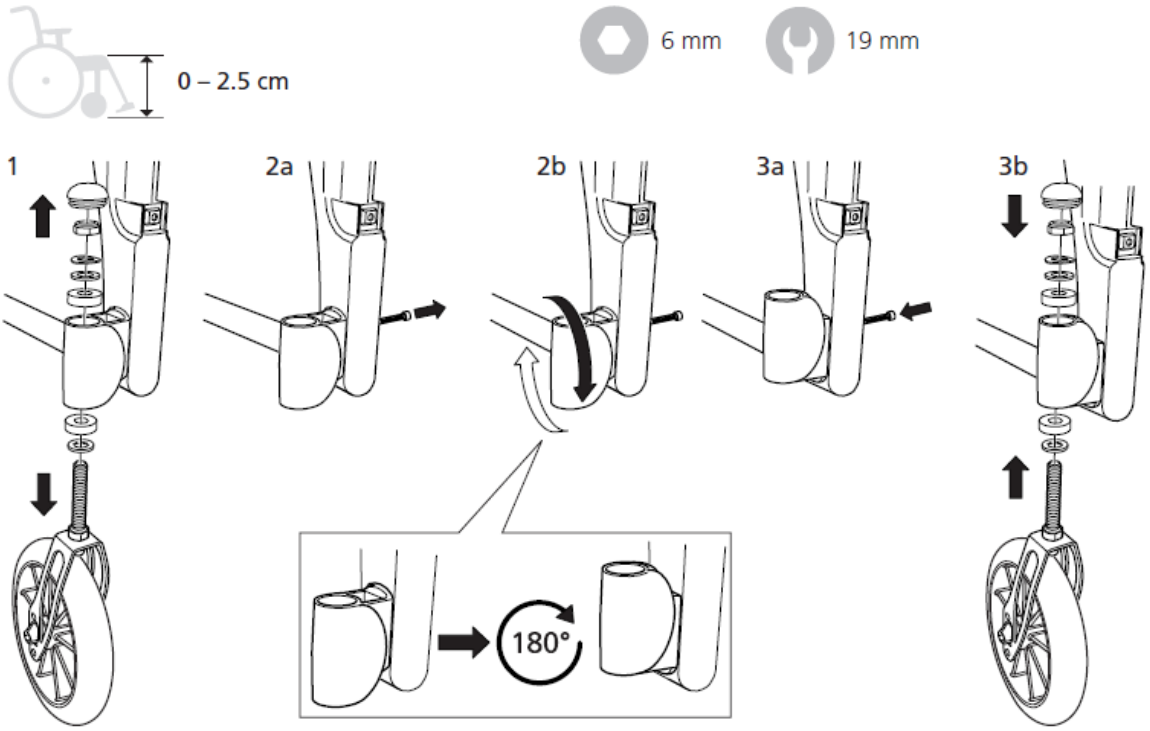
１、　ソケットレンチ（１９mm）で、フロントフォークを固定しているナットを外します。

2a、 六角レンチ（６mm）でフロントフォークアタッチメントを固定しているネジを外します。

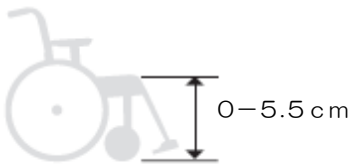
2b、フロントフォークアタッチメントの上下を入替えます。

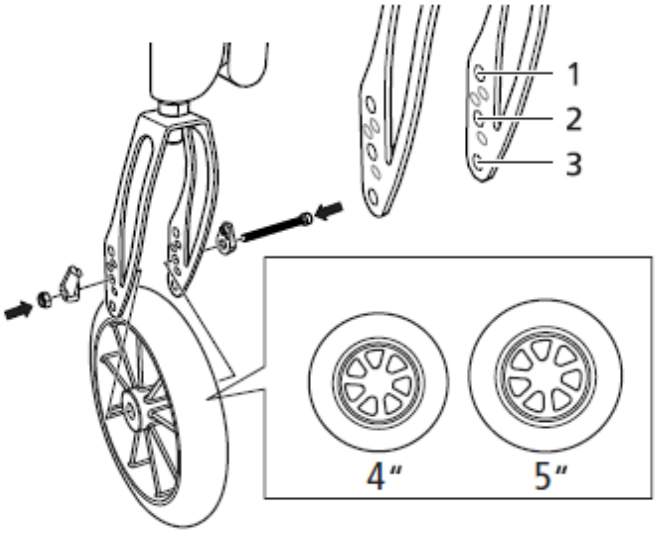
3a、フロントフォークアタッチメントを固定します。

3b、フロントフォークを固定してください。



前座高寸法





		4"	5"
ExtraShort		35 / 36,5 / 38 cm	
		37,5 / 39 / 40,5 cm	
Short			38,5 / 40 / 41,5 cm
			41 / 42,5 / 44 cm

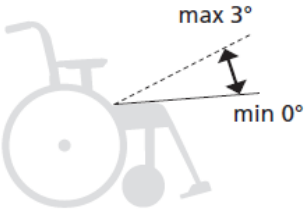
⚠ 注意　前座高を変更する場合、フロントフォークアタッチメントが地面に対して垂直になるよう角度を調節してください。

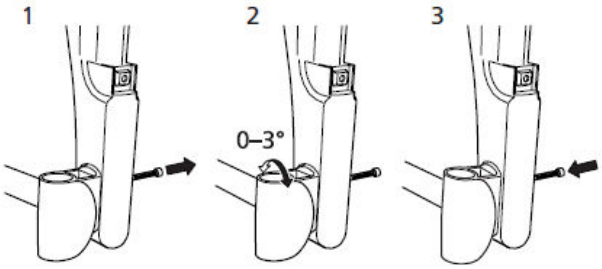
⚠ 注意　調節後は、ネジ・ナットに緩みがないか確認してください。

座面角度

座面角度は0°～3°で調節可能です。

角度計もしくは水準計を使い、フロントフォークアタッチメントを調節してください。





⚠ 警告　調節によっては車いすが後方へ転倒する危険性があります。
必要に応じて転倒防止装置を使用してください。

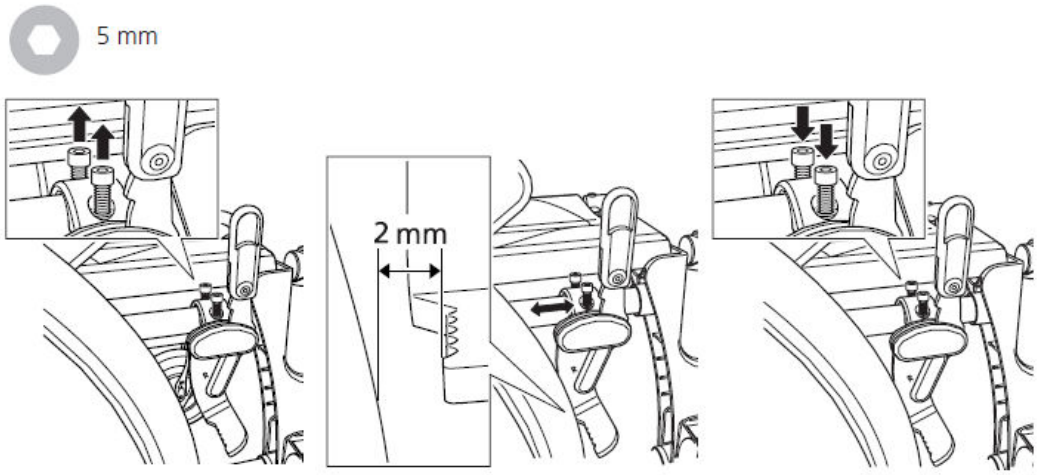
ブレーキ調節

座面高さ、座面角度を行った際には、必ずブレーキの調節を行ってください。

六角レンチ（5mm）でネジを緩めるとブレーキを前後にスライドできます。

タイヤとブレーキの間は2mm を目安にして調節し、ネジで固定してください。

調節後は、ブレーキの効きを確認してください。



フットサポート調節

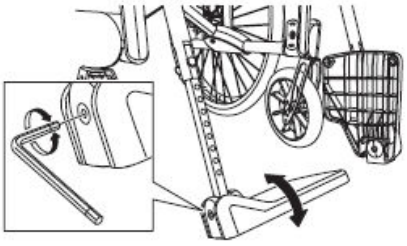
フットサポートは高さと角度調節が可能です。

使用される靴やシートクッションを変えた際には、再度調節を行ってください。

車いすを屋外で使用する場合には、地面とフットポートの間を４～５ｃｍ空けてください。

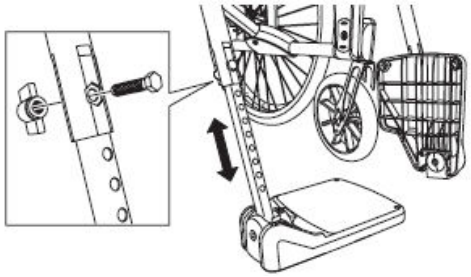
角度調節

六角レンチ（５mm）でネジを緩めると
フットサポートの角度が調節できます。
調節後はネジを締めて固定してください。



高さ調節

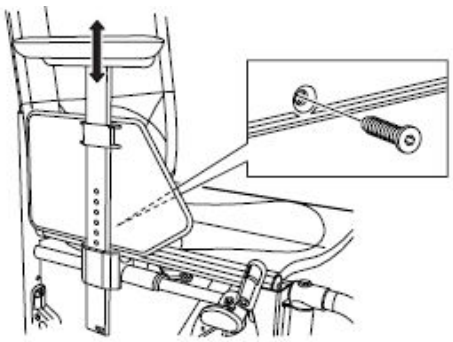
ウイングナットを緩め、ネジを抜いて
ください。
高さを調節した後、ネジ、ナットを
取り付け、しっかりと締めてください。



アームサポート調節

１、　六角レンチ（3mm）を使い、スカートガードを固定しているネジを外します。

２、　アームサポートの高さを調節し、ネジで固定します。



バックサポート調節

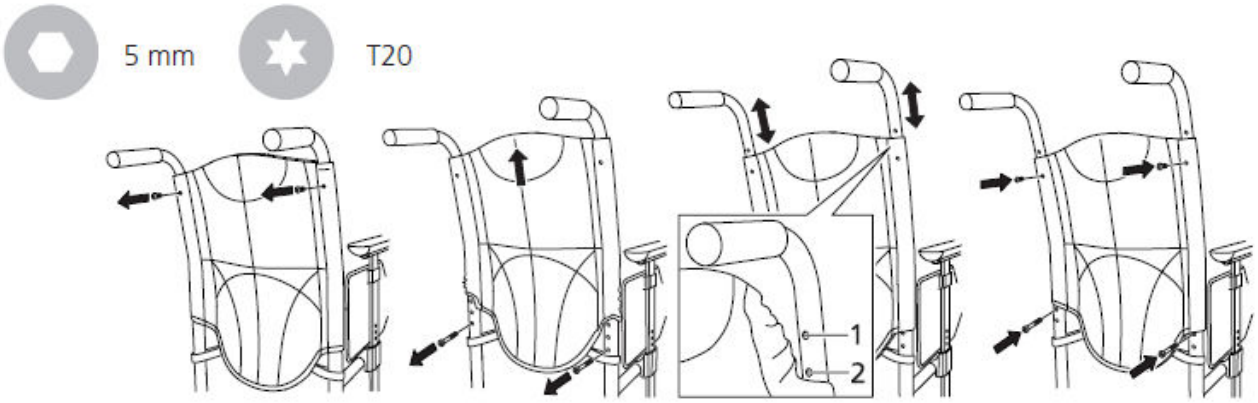
バックサポート高さと介助ハンドルの高さを調節することができます。

１、　バックサポートを固定しているネジを外します。

２、　バックサポートを上にずらし、バックサポートパイプを固定しているネジを外します。
　　バックサポートパイプの穴を変更することで、介助ハンドルの高さを変更できます。

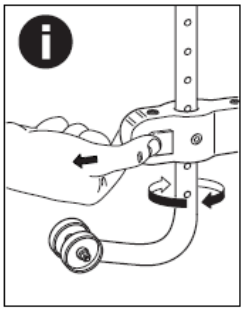
３、　バックサポートは上下２箇所の穴（下図、１と２）の位置を変更することで高さを
　　変更できます。

４、　それぞれの高さが決まってから、ネジで固定します。

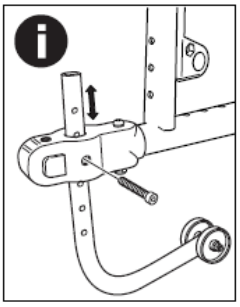


転倒防止装置

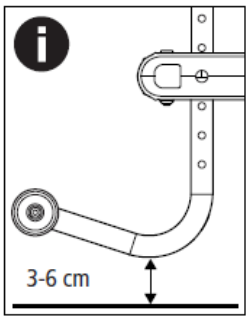
後方への転倒を防止できます。



オレンジのつまみを後方にスライドさせると、転倒防止装置を回転させることができます。
転倒防止装置を機能させる場合には、後方に向けてください。



転倒防止装置は高さ調節が可能です。
① 六角レンチ（５mm）を使用し、ネジを外します。
② パイプを上下にスライドさせ、高さを調節します。
③ 転倒防止装置の高さを設定し、ネジで固定します。



転倒防止装置と床面（地面）との間は、３～６ｃｍ空けることをお勧めしますが、座面の高さによって十分なスペースをとる事ができない場合があります。

⚠ 注意　転倒防止装置が床面に接したまま車いすを移動すると、床面を傷つける場合がありますので注意してください。

⚠ 注意　調節後は転倒防止装置が十分機能していることを確認してください。

⚠ 注意　調節後はネジなどに緩みがないか、確認してください。

⚠ 注意　転倒防止装置は必ず左右のフレームに取り付けてください。
片側のフレームのみに取り付けた場合、十分に機能しない場合があります。

５．仕様・サイズ

座幅	３７.５ｃｍ	４０ｃｍ
シート奥行き	３７.５ｃｍ	４０ｃｍ
バックサポート	３７.５ｃｍ～４７.５ｃｍ（2.5ｃｍピッチ）	
座面角度	0°-3°	
フロントキャスタ	４インチ	５インチ
フロントフォーク	エクストラショート	ショート
メインホイール	クイックリリース式車軸、ノンパンクタイヤ	
	２０インチ	２２インチ
前座高	３５ｃｍ～	３８.５ｃｍ～
後座高	３６ｃｍ～	３８ｃｍ～
フットレッグサポート	スイングアウト、スイングイン、着脱可能 高さ調節、角度調節可能	
アームサポート	着脱式、高さ調節可能	
折り畳み寸法	２４ｃｍ	
重量	１５.７ｋｇ	１５.９ｋｇ
利用者最大体重	１００ｋｇ	１２５ｋｇ

＊ 重量及びサイズは、仕様及びオプションパーツにより異なります。

＊ 上記サイズは設定により±２%程度の差がでます。

６．メンテナンス方法

<バックサポート、シート>

バッククサポートとシートは２種類ポリエステル素材を使用しています。
シートはシートチューブに差し込まれています。
チューブキャップのネジを緩めて、シートを取り外すことが可能です。
バックサポートを取り外す際は、まずバックサポートを固定しているネジを緩め、
バックサポートを引き上げてください。
タグに記載している表示にしたがって洗濯してください。

<駆動輪・フロントキャスタ>

タイヤ：	タイヤ溝は少なくともーヶ月にー度は確認してください。
スポーク：	スポークの緩みはホイールのがたつきにつながります。 スポークの調節ができる代理店にメンテナンスを依頼してください。
車軸：	毛髪やホコリを取り除いてください。
ボールベアリング：	メンテナンス不要です。注油はしないでください。
ハンドリム：	ハンドリムの傷でユーザーがけがをする危険性があります。 傷があれば交換してください。

<ブレーキ>

汚れがひどい場合はブレーキの効きが悪くなる可能性があります。
使用前には必ず正常に作動するか確認してください。
ブレーキ調節が必要な場合は１１ページをご覧ください。

<フレーム洗浄>

快適に使用していただく為、フレーム洗浄は行ってください。
フレームには残水を防ぐ為、排水穴が開けられています。
フレームを洗浄する際には、ph５～９の薬剤、もしくは７０%に希釈した消毒液を使用してください。

<その他>

- 車いすに問題が生じた際には、使用を中止し販売店もしくは弊社までご連絡ください。
- 問題が懸念される車いすはご使用にならないでください。
- 修理やパーツ取替えの際には弊社指定のパーツをご使用ください。
- 指定された以外のパーツをご使用の場合、安全性、機能性の保証はいたしかねますのでご注意ください。

⚠ 注意　メインホイールおよびフロントキャスタのベアリングに潤滑油等の使用は、決してしないでください。ベアリング内部のグリースが溶けて、キャスタの動きが悪くなる恐れがあります。

LAC

ラックヘルスケア株式会社

大阪　〒542-0081
大阪市中央区南船場 2-10-2
TEL：06-6244-0636　FAX：06-6244-0836

東京　〒105-0014
東京都港区芝 3-43-16 KDX 三田ビル 11F
TEL：03-5419-8050　FAX：03-5419-8051

九州　〒862-0924
熊本市中央区帯山 2-1-23 パークヒル帯山
TEL：096-340-8101　FAX：096-340-8102